

視察園概要

1

視察場所：仙台市今泉字土手外29

園主：三浦来喜氏(24才)、大友裕貴氏(24才)

家族構成：独身

1. 経営内容（品目、面積）

① 就農時：平成26年1月

- ・三浦氏 51a （共有）パイプハウス2棟 500㎡
- ・大友氏 63a

② 作付品目：リーフレタス 4作／年

白菜 秋1作

グロッコリー 春・秋 2作／年



2. 就農するまでの二人の経過

三浦さんは、非農家出身で高校卒業後、照明機器の会社に就職していたが、幼なじみの友人(大友さん)が「好きなレタスを作ってみたい！」と祖父の畑を借りてタネを播き、そこに、手伝いに行った事が農業を始めるきっかけになった。

タネを見るのも初めて。その生長を見たとき、神が舞い降りたように・・・震えが止まらぬほど感動する。

翌月、同僚や家族の反対を押し切り迷いもせず「会社を辞めて農業します！」と宣言。会社を退職し大友さんとともに、農業の世界に飛び込む。

就農開始にあたり、一番苦労したが農地。近所のレタス農家でもあり農業委員も勤める先輩の協力を得て、二人とも農地を借りることができた。

仙台市の支援体制もあり、今年1月に就農と同時に新規就農者の認定を受け、青年就農給付金（開始型）を申請する。2月には1回目の給付金を受け取ったので、マルチや資材を購入。生活費は、就農前の貯金で対応している。

3. 経営の特徴

- ・露地栽培：当初は、リーフレタス専作でスタート。
※春レタスは、6月の大雨で出荷不能を経験。
秋・冬作に、一部、玉レタス、白菜、グロッコリーを導入。
- ・施設栽培：育苗ハウスの空きスペース・期間を活用。
- ・労働力は、本人のみ。二人（三浦氏、大友氏）での共同作業、共同販売。

4. 出荷販売先

- ・卸会社（4割） ・ヨークベニマル（3割） ・その他※（3割）
※仙台市場、JA直売所たなばたけ、フレスコキクチ等。

5. 今後の経営目標

- ・まずは、規模拡大と収量アップ
- ・将来は、地元の仲間を増やし法人化を行い、飲食店など6次化を目指したい。

6. 新規参入希望者へ一言

就農して、「農業とは、毎日が驚きと発見の毎日です。」
天気を読み、土を見極め、害虫と戦い、鳥や獣と戦う農業の難しさとおもしろさを感じ、ますます挑戦したい気持ち膨らんでいます。（大友氏）

